

令和2年度 事業報告

我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられます。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されています。

ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況下、当協会は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の変更・中止を余儀なくされましたが、感染防止などの対応を行いながら、可能な限り川崎港の利用促進や市民と港を結ぶ事業を中心に、市民及び港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を推進しました。

【公益目的事業－1】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題について協議会の傘下にある「改善部会」で一括して取り組んできた。平成30年度より「改善部会」では、東扇島地区或いは川崎港全般に関わる課題を継続課題として取り組むこととし、千鳥町地区に特化した課題は従前の協議会での取り組みとした。上記継続課題の進捗状況を具体的に検討、確認する場として改善部会を年2回、協議会を1回開催することにしてきたが、令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度1回目の「改善部会」小委員会を令和2年12月に開催した後の2回の改善部会を書面決議で行った。会議の報告内容については、別途文書で委員にお伝えし、継続課題の進捗状況の情報共有を図った。

また、協議会も、改善部会で諮られた事項について、確認と承認を書面決議で行った。

(1) 第1回「改善部会」小委員会の開催

日 程 12月8日

議 題

ア 課題の進捗状況確認

①環境の向上 監視カメラの設置（2月末完了）

②東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）

- ③待機車両、違法駐車車両及び通勤用駐車場対策
- ④交通の利便性向上
- ⑤千鳥町地区における作業車、通勤車両等の駐車場確保

(2) 第1回「改善部会」

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面決議とした。

日 程 1月8日

議 題

ア 課題の進捗状況確認

- ①環境の向上 監視カメラの設置（2月末完了）
- ②東扇島島内の美化対策（ゴミ対策）
- ③待機車両、違法駐車車両及び通勤用駐車場対策
- ④交通の利便性向上
- ⑤千鳥町地区における作業車、通勤車両等の駐車場確保

(3) 第2回「改善部会」

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面決議とした。

日 程 3月17日

議 題

ア 課題の進捗状況の確認について

(4) 「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面決議とした。

日 程 3月17日

議 題

ア 改善部会の議事内容

イ 課題の進捗状況の確認について

ウ 今後の方針

今後、川崎港放置自動車等対策連絡協議会を発展・体制強化した上で、美化対策を統合し、待機車両・放置車両対策共に、官民一体となって総合的に推進していく。

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

(1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」（平成23年9月設立）は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、及び川崎港振興協会の4団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤 文夫会長が務め、推進協議会の実行部隊である2部会（ポートセールス部会・施設計画部会）のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

なお、令和2年度のコンテナターミナルでの取扱数量は、初めて16万TEU超えを果たした。

ア ポートセールス部会及び施設計画部会の開催

・ 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 7月8日

議 題 ①令和元年度 活動状況について
②令和2年度 事業計画について

・ 第2回ポートセールス部会の開催

(第1回施設計画部会合同会議)

日 程 11月4日

議 題 ①令和2年度 上半期の事業活動について
②主要顧客・船会社との取り組みと現状
③川崎港コンテナターミナルの取扱状況について
④セール動画の製作進捗について

・ 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月1日

議 題 ①令和2年度 事業報告書(案)・収支決算書(案)の承認
②川崎港を取り巻くマーケット状況について
③川崎港コンテナターミナルの状況について
④令和3年度 事業計画及び収支予算案について承認
⑤セールス動画完成試写

・ 第2回施設計画部会の開催

日 程 3月22日

議 題 ①コンテナターミナルの整備について
②コンテナ関連施設の整備について
③その他・意見交換

イ 国内ポートセールスの実施

・ リーフター貨物への取り組み強化

・ 輸出貨物獲得に向けた取り組み

コンテナラウンドユースへの継続取り組み

インランドデポ業者との連携による輸出貨物獲得

(株)ニトリ貨物に焦点を絞った輸出貨物の掘り起こし

・ 新規荷主の取り扱い拡大

家電、アパレル、日用雑貨など幅広い品目

ウ 友好船社対応

・ S I T Cとの連携強化

S I T Cジャパンへの表敬訪問(12月21日)

協議会の齋藤会長と港湾局でS I T Cジャパン社長との会談実現

S I T Cジャパンとの交流

- ・ ワンハイ、ONE，南星ジャパン、TCLCとの定期交流
(10月2日、10月6日)

エ 海外ポートセールス活動

- ・ 令和2年度活動計画の中で、海外ポートセールス、シッパーセールスの実施予定であったが、各国での新型コロナウイルス感染拡大により、出入国管理が厳しくなり、その状況が継続していることから、実施は見送った。

オ セールス動画の作成

- ・ 川崎港戦略港湾推進協議会 ポートセールス部会の中で、川崎港をアピールする英語、中国語、日本語の3か国語によるセールス動画を作成した。
(YouTubeへのアップロード済)

(2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主企業及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、コンテナターミナルの更なる発展に向けて情報収集及び川崎港利用の誘致セールスを行った。

(3) クルーズ客船誘致に関する事業（インバウンド等誘客に関する事業）

川崎港の利用促進につながる観光事業の一環として、クルーズ客船の誘致について港湾局と連携し、取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施は見送った。

3. 京浜3港広域連携に関する事業

京浜3港広域連携に基づき、川崎・横浜・東京の各港湾管理者、振興協会及び港湾運営会社との連携は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施を見合わせた。

4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。

令和2年度は、合計で20隻の外航船が初入港した。

4月	1隻	8月	2隻	12月	3隻
5月	0隻	9月	2隻	1月	1隻
6月	3隻	10月	0隻	2月	2隻
7月	1隻	11月	3隻	3月	2隻

5. 国際交流事業（友好港、友好都市との交流事業）

ベトナム、ダナン港及び中国連雲港港など、海外諸港との交流事業実施については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見合わせた。

6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、川崎港利用者

等に頒布した。

2020年版 川崎港便覧

発行日 8月21日

発行部数 日本語版 3,500部 英語版 350部

7. その他の振興事業

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

[提供先]

7月23日発行 日本海事新聞「海の日記念特集号」

7月31日発行 タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い名刺広告」

1月 1日発行 タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号年賀名刺広告」

1月 1日発行 日本海事新聞「新年特集号」

3月29日発行 マリタイムデーリーニュース「川崎港特集」

【公益目的事業—2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を
図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

川崎港の役割及び海事思想について市民の理解を深めるとともに、川崎マリエンの利用を促進するため、令和2年度は次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たってアンケート等を行い、事業効果を測定して、今後の事業の参考とした。

令和2年度については、令和2年4月7日に政府から発出された緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月10日から川崎市港湾振興会館（交流棟）の臨時休館及び屋外施設の利用を休止していたが、令和2年5月25日の緊急事態宣言の解除を受け、利用開始に向けた感染拡大防止対策を行い、令和2年6月1日から施設利用を再開した。

また、令和3年1月8日から3月21日の2回目の緊急事態宣言の発出の際には、20時以降について交流棟及び屋外施設の利用を休止した。

（1）第47回川崎みなと祭りの開催

川崎港への市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、第47回川崎みなと祭りの開催に向けて実行委員会を設置し、検討を進めた。が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を中止した。

（2）映画上映会の開催

マリエンシアターで小学生以下の子供とその保護者を対象に、夏休み、冬休み、春休みの計3回の上映会を計画したが、夏休み上映会については新型コロナウイ

ルス感染症拡大防止のために中止とし、他2回を開催した。

- ・上映日 1月14日
上映作品 「かいけつゾロリうちゅうの勇者たち」
来場者41人
- ・上映日 3月14日
上映作品 「怪盗グルーのミニオン大脱走」
来場者37人

(3) 初日の出観賞会の開催

令和2年度は3密を避けるため、定員を例年の300人から100人に減らし、事前応募制にて、新型コロナウイルス感染対策を行った上での開催に向け検討したが、12月下旬頃から首都圏での感染者が急増してきた状況をふまえ、参加者の安全を第1として開催を中止した。

代替として、元日に職員がマリエンで撮影した初日の出の写真をハガキにプリントした年賀状を応募者179人に送付した。

(4) 夏休み工作教室の開催

小学生と保護者を対象としてボトルシップ並びにボトルアートの工作教室を例年開催している。

令和2年度は、担当講師と開催に向け検討をしたが、参加者の新型コロナウイルス感染を防止するため同教室の開催を中止した。

(5) 夏休み海洋環境教室の開催

小学生と保護者を対象として専門家の指導による水生の動植物の観察や形態の調査を行う体験学習活動を例年開催している。

令和2年度は、担当講師と開催に向け検討したが、参加者の新型コロナウイルス感染を防止するため同教室の開催を中止した。

(6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子供向けボトルシップ工作教室の指導者を目指す成人を対象として、基本から高度な技術まで修得できる養成コースを例年開催している。

令和2年度は、担当講師と開催に向け検討したが、参加者の新型コロナウイルス感染を防止するため同教室の開催を中止した。

(7) イルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスと正月の季節に川崎マリエン植栽へのイルミネーション装飾を実施し、季節の感じられる川崎マリエンを演出するとともに、川崎市と協力して啓発キャンペーンの際には業務棟・交流棟壁面のライトアップを実施した。

- ・クリスマスイルミネーション 12月1日～12月25日
- ・ライトアップ

ブルーライトアップ (世界自閉症啓発デー)	4月2日
(医療従事者への感謝の意)	6月4日～5日
グリーンライトアップ (自殺予防週間)	9月10日～11日
パープルライトアップ (パープルデー/てんかん啓発)	3月22日～26日

(8) 第10回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。表彰式については新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止し、入賞者に賞状と副賞を郵送した。

※入賞作品の展示は、4月から川崎アゼリアにて行う予定

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 11月1日～1月31日
- ・応募点数 写真59点、絵画85点
- ・選考会 2月16日

(9) フリースペースの貸出

川崎マリエン交流棟1階ロビーを展示用フリースペースとして、市民等の利用に供し、希望者に無料で貸し出した。

- ・ミニチュアクラシックカー展示の継続と増設
- ・体験学習施設を活用し、NPO団体と連携して海苔づくり体験会を開催した。

(10) 展示の充実

○川崎マリエン交流棟2階 マリエンプラザ

ベトナム・ダナン港コーナー、連雲港港コーナーにおいて、展示替えやベトナム航空の最新の機内誌の設置を行った。

○川崎マリエンタワー棟10階 展望室

川崎港の統計データパネルを更新し、来館者が川崎港をより深く理解しながら、周囲の眺望を楽しめるよう展示の充実を図った。

(11) 夏休み川崎港見学会の開催

夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学や自動車専用船の船内見学等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止とした。

代替策として、春休み川崎港見学会を企画し、クルーズ船による川崎港の見学とともに、自動車専用船の見学、川崎マリエンでのPR動画視聴・展望室見学を行った。

1回目	3月26日	15組	30人
2回目	3月31日	11組	22人

(12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

一般市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、川崎港の役割、重要性等を理解しながら、川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言発令のため、中止とした。

代替策として、普段子供たちがなかなか見ることができない工場夜景を体験することができる「親子川崎港工場夜景クルーズ」を新たに企画し、クルーズ船により海上から、また観光バスにより首都高速から工場夜景を視察するツアーを実施した。

1回目	3/13 (土)	18組	36人
2回目	3/20 (土)	14組	28人
3回目	3/27 (土)	16組	32人

(13) 港内案内事業の実施

川崎市が一般市民、研究者、事業者、内外視察団等を対象に巡視船を利用して海上から川崎港を案内する事業において、乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明業務を当協会が受託している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により港内案内業務の実施は2回、合計45人となった。

また、当協会が東扇島防災浮棧橋を活用した港内観光などの平常時利用の実証実験事業を受託するとともに事務局を担い、川崎市及び関係事業者を含めた協議会を運営している。令和2年度は運営理事会を2回（内1回は書面報告）開催した。

当該浮棧橋の利用は、新型コロナウイルス感染症拡大緊急事態宣言の影響により5回の利用となった。

- ・東扇島防災浮棧橋利用協議会

令和2年度 第1回運営理事会 開催日 8月4日

令和2年度 第2回運営理事会 開催中止・書面報告

- ・実証実験利用回数 5回

(14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育館、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

夜間テニス教室春の部、夜間バドミントン教室夏の部は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止とした。その代替開催として夜間テニス教室冬の部、夜間バドミントン教室冬の部を企画したが、開催直前に再度緊急事態宣言が発令されたため、開催中止とした。

- ・夜間バドミントン教室／秋の部 10月20日～12月15日実施

全8回 55人参加

- ・夜間テニス教室／秋の部 9月17日～11月26日実施

全8回 134人参加

- ・昼テニススクール 7月15日～3月31日実施

全33回 143人参加

- ・昼テニス大会 7月14日～3月9日実施

全8回 114人参加

- ・日帰り研修／ビーチバレーボール 7月5日～10月25日実施

全5回 70人参加

- ・日帰り研修／ビーチテニス

第1回 10月24日実施 8人参加

- ・ビーチバレーボール大会

第1回 11月29日実施 23人参加

- ・ビーチテニス大会
第1回 11月3日実施 20人参加
- ・トレーニング教室 7月20日～3月15日実施
全10回 15人参加

(15) ニュースポーツ普及事業の実施

レクリエーション関係各社と連携して、川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催するとともに、用具を川崎マリエンに備え付け、東扇島中公園等の施設利用者に貸与した。

- ア 第1回 9月13日実施 13人参加
実施種目 カローリング、スティックリング、室内ペタンク
- イ 第2回 10月18日実施 19人参加
実施種目 クップ、ディスクゴルフ、グランドゴルフ
- ウ 第3回 11月15日実施 25人参加
実施種目 シャッフルボード、ディスクゲッター、スカットボール
- エ 第4回 1月17日実施 9人参加
実施種目 オーバルボール、ラダーゲッター、カーリンコン

(16) 宿泊体験事業の実施

川崎マリエンの特色を發揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、青少年育成団体を対象とする研修を実施したほか、ビーチバレーボールとビーチテニスの日帰り体験会及び大会を実施した。

※本来は宿泊体験だが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日帰りにより実施した。

- ・実施日 2月20日、21日
- 参加者 134人（20日33人、21日101人）

(17) 茶道教室の開催

和室を利用して伝統とおもてなしの心を体験する教室を例年開催している。令和2年度は、担当講師と開催に向け検討をしたが、参加者の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため同教室の開催を中止した。

(18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携するほか、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外の観光客や修学旅行生に向けて情報発信した。

(19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材の配布を行った。

- ・来館校数 18校
- 生徒数 2,079人

(20) ワカメ祭りの開催

川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、

協力して、川崎港内で養殖したワカメの種付けを例年行っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民参加による種付け会、収穫祭、見学会を中止し、主催者で種付けをと収穫祭を行った。

- ・ 12月 6日 種付け
- ・ 1月31日 収穫祭

(21) 野鳥及び樹木の保護・観察

環境保護活動の一環として、野鳥及び樹木の保護・観察の観点から市民参加型事業を検討し、川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による「野鳥及び樹木の観察会」を実施した。

- ・ 実施日 11月1日
- 参加者 45人

(22) スポーツ合宿の開催

川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与するとともに、U23世代に対してオリンピックによるビーチバレーボールの指導とトップアスリートによる必要な要素を研修できる環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業として開催した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各日帰りで開催した。

- ・ 実施日 3月5日～7日
- 実施内容 ビーチバレー場では実技・試合、研修室・会議室は座学に利用
- 参加者 5日4人、6日7人、7日7人

(23) 海苔づくり体験教室の開催

体験学習施設を利用して、市内の小学生を対象とした海苔づくり体験教室を環境保護団体と連携して開催した。

- ・ 実施日 2月21日
- 参加者 62人

(24) ドローン講習会の開催

ドローンの操縦法を学ぶ体験講習会をドローンの主催者と協力して開催することを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

(25) 親子釣り教室の開催

子供たちが釣りの楽しさや、海洋環境を学ぶことを目的に、東扇島西公園において親子釣り教室を開催した。川崎港で釣りができることの認知度や東扇島西公園の「釣り施設」としての知名度を向上させ、更なる賑わいの創出と施設の活性化を図った。

- ・ 実施日 11月11日
- 参加者 20人

(26) 車両の駐車講習会の開催

川崎マリエンの駐車場を活用して、自動車の安全で安心な駐車や車庫入れの技術向上を目的に専門の指導員による講習会を開催した。

- ・ 実施日 3月26日
- 参加者 3人

(27) ビーチフィットネス／健康体操・ストレッチ教室の開催

川崎マリエンの体育館を活用して、港湾労働者の健康の維持と増進を図るため、フィットネス教室を開催した。

ア 第1回

・実施日 7月29日

参加者 14人

イ 第2回

・実施日 8月19日

参加者 11人

(28) なわとび教室の開催

川崎マリエンの体育館を活用して、市内小学生の体力増進となわとびの技術力の向上を図ることを目的として開催した。

・実施日 2月23日

参加者 61人

(29) 夜景写真教室の開催

写真撮影の専門家を講師に招き夜景写真教室を昨年より開催しているが、令和2年度は、担当講師と開催に向け検討をしたが、参加者の新型コロナウイルス感染防止のため同教室の開催を中止した。

(30) パブリックビューイングの開催

交流棟1階のマリエンシアターの利用促進を図るため、令和2年度よりパブリックビューイングの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催延期となったこと等から、令和3年度からの実施とした。

(31) 季節の工作教室の開催

季節を感じるアイテムや、川丸くんのペーパーモビールを作成する工作教室を開催した。

ア 川丸くんペーパーモビール工作教室

・実施日 9月6日

参加者 46人

イ クリスマスリース工作教室

・実施日 12月12日

参加者 40人

(32) さくらの時季の野点の開催

川崎マリエンの敷地に多くの桜の木が植えられていることから、桜の開花時季に茶道の先生による「さくらの野点」の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(33) 中公園開設30周年記念イベント

中公園30周年イベントとして、11月1日野鳥及び樹木の観察会開催時に樹名板を作成し、あわせて30周年記念プレートを樹木へ取りつけた。

(34) ふれあい移動動物園の開催

子供たちがひよこやうさぎなどを始めとする小動物に触れ、やさしさや守ることの大切さを感じてもらおうふれあい移動動物園の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(35) 川崎マリエンあそびの日

「川崎マリエンあそびの日」として、市内の子供たちに川崎マリエンを開放し、ビーチバレーや体育館でのレクリエーション、工作教室を開催した。また、のぼりを製作し館内やビーチコートに設置してイベントの盛り上げを行った。

・実施日 9月6日

参加人数 46人

(36) キッズスポーツ体験教室の実施

子供を対象にパドルテニス、グランドゴルフ、なわとびの体験と講習を実施した。

・実施日 2月23日

参加人数 61人

(37) 焼き芋をつくろう

東扇島中公園を利用し、子供たちも参加して野外で焼く楽しさや、食べる楽しさを体験できる焼き芋づくりイベントを開催した。

・実施日 11月1日

参加者 45人

(38) 中公園を花で飾ろう

東扇島中公園のベンチ横園路脇のスペースを活用して花壇を作り、市民参加による花の種を植えるイベントを行った。

・実施日 11月1日

参加者 34人

(39) かわさき地産地消の芋煮会

野鳥及び樹木の観察会開催時に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者のみを対象として、地産地消芋煮会をトライアルで実施した。

その結果、中公園を利用して川崎で生まれ育った野菜をメインにした芋煮会を、次年度以降に家族で楽しめるイベントとして開催することとした。

・実施日 11月1日

参加者 20人

(40) 紙飛行機を作って飛ばそう

子供を対象に、世界大会も行われている紙飛行機「スカイキング」や模型紙飛行機を職員の指導のもと製作し、東扇島中公園で飛ばしてその飛行時間を競った。

・実施日 11月1日

参加者 45人

(41) グラウンドゴルフ体験会の開催

東扇島中公園において、ニュースポーツ普及の一環としてグラウンドゴルフのコースを設置して体験会を開催した。

- ・実施日 10月18日
参加者 19人

(42) 樹木の名木板取付ワークショップ

川崎マリエン及び東扇島中公園に植樹されている樹木の名木板取付けワークショップを開催し、環境保護を推進した。

- ・実施日 11月1日
参加者 45人

(43) 夜桜のライトアップと鑑賞会の開催

桜の開花時期に東扇島中公園の桜に提灯を吊るしてライトアップを行い、新型コロナウイルス感染予防の注意喚起をしながら、訪れる市民にお花見の場所を提供した。

(44) 子供の自転車教室の開催

東扇島中公園に自転車用のコースを設置し、マリエンシアターにて座学を行った後、実際に自転車に乗りながら交通ルールを学んだ。

- ・実施日 3月20日
参加者 大人3人、子供4人

(45) フットサルコート提供に向けた準備

川崎マリエン体育館の利用を促進することを目的とし、体育館内へフットサルコートの設置に向けて、利用が可能となるよう体育館の壁面の改修工事について川崎市と協議し、要望を行った。

(46) 定期演奏会の開催誘致

川崎マリエン体育館の多目的利用を促進する一環として、演奏会やミニコンサートの誘致を図るため、利用に向けてマリエンHPで定期的に広報を実施した。

(47) 中公園でのキャンプエリア開設

令和2年4月から東扇島中公園で新たにキャンプエリアを開設し、一般の利用に供した。

- ・利用件数 日帰り 50件、宿泊 28件

(48) 川崎マリエン内へ写真撮影スポットの施設整備

マリエン来館者へインスタグラムフレームの貸し出しを行ってフェイスブックやインスタグラムなどに映える写真を撮影してもらい、来館者自らの各種SNSでの拡散効果による川崎マリエンの知名度の向上を図った。

(49) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチバレー場、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

ア 2020年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室（上期）

川崎市テニス協会

イ 2020年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室（下期）

川崎市テニス協会

ウ 第13回川崎港トライアスロンin東扇島

兼 第7回川崎ジュニアトライアスロン大会

兼 第25回関東ブロックトライアスロン選手権大会

兼 第31回東京都トライアスロン選手権大会

エ 第8回神奈川オープンベテランウインターテニス2020

オ バイクナビ・グランプリ2020 第17回川崎マリンエンデューロ

カ 川崎ビーチバレーinかわさきの浜（男女混合2人制・4人制一般大会）

2. 港湾及び海事関係者の福利厚生事業

川崎マリエンのスポーツ施設、会議室、シャワー設備等や東扇島中公園を港湾及び海事関係者の利用に供するほか、様々な機能を活用して実施する各種スポーツ教室及び大会、ニュースポーツ普及事業、茶道教室、映画上映会等を開催し、川崎臨海部で働く人々のリフレッシュ、健康づくり、交流の場とすることにより、福利厚生の充実を図った。

3. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、設置目的に従い、また新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと行った上で、体育館、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室、バーベキュー場、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大に努めた。

令和2年度については、緊急事態宣言の発出に伴い令和2年4月10日から5月25日まで川崎市港湾振興会館（交流棟）の臨時休館及び屋外施設の利用を休止していたが、令和2年6月1日から施設利用を再開した。

また、令和3年1月8日から3月21日の2回目の緊急事態宣言の発出の際には、20時以降について交流棟及び屋外施設の利用を休止した。

ア 体育館

利用可能なアマチュアスポーツ以外で、ダンスなどでの利用に供した。その他の利用目的にも対応し、小中学生のチアリーディングの練習等に貸し出しをした。

毎週木曜日及び専用利用がない区画を市民開放として貸し出した。

イ 会議室・研修室

利用促進を図るため、会議室及び研修室において使用料の半額化を継続した。また、ドラマ等の撮影場所として貸し出し、川崎マリエンのPRに努め、知名度アップに貢献した。

ウ 展望室

展望室と望遠鏡の無料化を継続するとともに、タッチパネルにより川崎港と周辺地域の様子を具体的に表示し、展望室からの眺望と併せて利用者の方々に楽しんで頂いた。

エ テニスコート

利用者からの要望に適宜対応し、また備品管理を行い利用者の利便性の向上を図った。

オ ビーチバレー場

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定選手やトップアスリートの練習会場としての利用の他、ビーチバレーの関係団体と連携を図り、大会・練習会・講習会を開催しビーチスポーツの普及に貢献した。

カ トレーニング室

一般利用者に対しては、月4回の初回説明会を実施するなど、交流棟9階のトレーニング場の適切な管理運営を行った。

また、交流棟2階のトレーニング場は、ビーチバレーアスリートのトレーニング場所として利用してもらうとともに、適宜備品管理を行い、利用者の利便性の向上を図り、ビーチスポーツの普及に貢献した。

キ 駐車場

管理運営を専門業者に委託し、より効率的な運営を行った。

また、駐車場の一部を継続して移動式水素ステーションに貸与するとともに、設置している電気自動車用急速充電器の利用を進めた。

ク 交流棟受付及びロビーの季節の飾り付け等

川崎マリエンの季節感を出すために「七夕」「ハロウィン」「クリスマス」「お正月」「雛祭り」等の飾り付けを行った。

ケ サービス向上委員会及び管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催

川崎マリエンのより快適な環境及び魅力ある施設の利用者サービス向上を図るため、毎月1回受託業者間の情報提供や意見交換を行った。

コ 会館入居者連絡会議の開催

川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を2回開催した。

サ 川崎マリエン利用者懇談会の開催

川崎マリエンの運営及び事業について、市民及び利用者の意見を反映させるため、12団体から推薦された委員による川崎マリエン利用者懇談会を年2回（上期1回、下期1回）開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議を開かず、書面により報告を行った。

・構成団体名

川崎区連合町内会、川崎区スポーツ推進委員会、川崎市立小学校、
（公財）川崎市スポーツ協会、川崎市バレーボール協会、川崎市テニス協会、川崎マリエン・ボトルシップ会、（一財）川崎港湾福利厚生協会、東扇島協議会、川崎港管理センター、日本バレーボール協会、
（公社）川崎港振興協会

シ 事業モニタリングの実施

施設の利便性や利用率向上の為に、利用者の意見を取り入れ、関連団体からの施設予約を文書化するなど業務の見直し、改善を図った。

ス 東扇島中公園の管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園の管理運営として、樹木剪定、芝刈、除草及び害虫駆除等を定期的に行い、公園利用者の利便性の向上に努め適切に管理運営を行った。

セ 桜の森とコミュニティスペースの活用

川崎マリエン敷地内にある桜の森や東扇島中公園に多種多様な樹木が植樹されていることから、これらの場所を市民が季節を感じ憩える場所とするためにテーブル・椅子を設置し、利用者の利便性の向上に努めた。

ソ 会議室・港湾事務室のカーペットの張替え

会議室・港湾事務室の環境美化を図ることにより、清潔で快適な利用環境を整えるため、状況に応じカーペット汚損個所の補修及び張替えを行った。

タ 無料Wi-Fiの施設整備

会議室及び研修室等において、無料Wi-Fiを利用した携帯電話、タブレット等によるネット環境を活用した会議や多目的な利用へのサービスの向上を図るため、川崎市と協議を行った。

チ 外国人来館者への対応

案内物・掲示物に英中韓の3か国語を標記するとともに、マリエン受付に翻訳デバイス（POCKETALK）を用意し、外国人来館者への対応を行うなど、サービスの向上を図った。

ツ 安全性の向上

施設の案内表示、老朽化した展望フロア等の修繕や備品の管理を適切に行い、利用者の安全性、利便性の向上に努めた。

マリエン施設の利用者数（前年度との比較）

令和2年度		令和元年度	
125,725人		169,175人	
・会議室・研修室	9,452人	・会議室・研修室	17,607人
・展望室	47,934人	・展望室	71,357人
・テニスコート	23,970人	・テニスコート	35,965人
・ビーチバレー場	30,677人	・ビーチバレー場	26,040人
・体育館	7,043人	・体育館	15,653人
・川崎みなと祭り（中止）	0人	・川崎みなと祭り（中止）	0人
・その他（トレーニング室他）	6,649人	・その他（トレーニング室他）	2,553人

4. インターネットサイトによる情報提供事業

川崎港の振興宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック等で随時情報を提供した。

また、マリエン及び協会サイトのウェブアクセシビリティ対応及び英語翻訳により、多くの方がサイトを便利に利用できるよう配慮した。

- ・ホームページ
公益社団法人川崎港振興協会 <https://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>
川崎マリエン <https://www.kawasakiport.or.jp/>
※ページ別訪問数（令和2年4月～令和3年3月） 312,753件
- ・フェイスブック
川崎マリエン <https://www.facebook.com/kawasakimarien/>
- ・その他の広報事業
川崎港及び川崎マリエンを広報するため、かわさき情報プラザへのイベントチラシ配布依頼や下記の広報活動を行った。
 - ・かわさきFM 生出演（毎月第4火曜日）
 - ・タウンニュース 広告掲載6回
 - ・タウンニュース イベント告知掲載7回
 - ・川崎市バス まど上ポスター掲載（11月6日～12月5日）
 - ・郵便局ポスター掲載 2局（11月2日～11月30日）
 - ・川崎イベントアプリ イベント告知 掲載20回
 - ・川崎マリエン館内イベント告知及びポスター掲示（通年）

【収益事業－1】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

1. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園収益施設の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分やバーベキュー場を川崎マリエン並びに東扇島中公園の設置目的に従って適切に管理運営を行った。

・東扇島中公園内バーベキュー施設の管理運営

収益施設として、川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設の維持管理、案内、用具点検、また新たに有料のゴミ処分サービスを行い、利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

利用区画数	517	区画	(令和元年度	629	区画)
無料貸自転車	594	件	(〃	1018件)

2. 自動販売機設置事業

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園利用者の利便性の向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置している。

・交流棟	1台	・業務棟	2台	・連絡通路	3台	・展望室	1台
・テニスコート	2台	・西公園	5台			計	14台

【収益事業—2】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているホオジロサメの剥製「かわジロー」に因んだサメのグッズを仕入れ、また、川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」のオリジナルグッズを作成して、川崎マリエン受付で販売した。

2. 体育館利用者のための消耗品の販売

体育館利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けにシャンプー等を販売し、利便性の向上を図った。

【収益事業—3】

——ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の管理運営——

川崎マリエンビーチバレー場がスポーツ庁よりナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に継続して指定されたことから、スポーツ庁から拠点強化事業を受託し、国内トップレベルのビーチバレーボール選手が東京オリンピックでの活躍に向けてトレーニング等を強化できるよう適切な管理運営を行った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

(1) 会員 268社 (入会2社・退会2社)

(2) 役員 19人

会 長 1人

専務理事 1人

理 事 14人

監 事 2人

顧 問 1人

(3) 職員 15人

事務局長 (業務課長兼務) 1人

業務課 5人

ポートセールス推進課 1人

会館事業課 8人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会（決議の省略の方法による）

- ・決議があったものとみなされた日 5月26日（同意書等の最終到達日）
- ・提案事項 ①令和元年度 事業報告の件
②令和元年度 決算報告及び監査報告の件
③役員の変更（案）の件
④令和2年度 定時総会の招集（案）の件
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

- ・開催日 6月24日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟4階 研修室
- ・議 題 ①令和元年度 事業報告について
②令和元年度 決算報告及び監査報告について
③役員の変更（案）について
- ・報告事項 令和2年度 事業計画及び予算について

(3) 臨時理事会（決議の省略の方法による）

- ・決議があったものとみなされた日 6月24日（同意書等の最終到達日）
- ・提案事項 ①代表理事選定の件
②専務理事選定の件

(4) 通常理事会

- ・開催日 11月13日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①令和2度 上半期事業報告について
②令和2度 中間決算報告について
③会員の入会(案)について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

(5) 通常理事会（決議の省略の方法による）

- ・決議があったものとみなされた日 2月19日（同意書等の最終到達日）
- ・提案事項 ①令和3年度 事業計画（案）の件
②令和3年度 予算（案）の件
③資金調達及び設備投資の見込み（案）の件

3. 川崎港研修会

川崎港についての理解を深めるため、会員店社の新入社員を対象に川崎港における港湾行政についての講演及び海上からの川崎港視察を実施する研修会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催することが困難であると判断し、令和2年度の開催を中止した。

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、港湾関係行政機関か

ら講師を招き、港湾振興事業、公共事業、将来計画、川崎港の港勢等についての説明会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催することが困難であると判断し、令和2年度の開催を中止した。

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応し、会員各位の事業発展に資するため、令和2年度は株式会社日通総合研究所 リサーチフェロー 田阪 幹雄 様 をお招きし「日本の物流の現状と課題、そして将来の方向性」と題して3月12日にご講演を頂く予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催することが困難であると判断し、令和2年度の開催を中止した。

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾または海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市内行政機関、学校、図書館等に配布し、市民が川崎港の役割、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき66号」

- ・発行日 8月3日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容

「みなとで働く人々」

第4回 川崎市消防局 臨港消防署 千鳥町出張所
物流研修会「国際物流事情の変化」

株式会社大森廻漕店 常務取締役 国際本部長 濱田 雅弘
東扇島掘込部土地造成事業<事業進捗について>

川崎市港湾局 川崎港管理センター整備課 担当係長 矢原 須高
連 載「川崎臨海部埋立の歴史」

第4回 千鳥町ふ頭における港湾施設の整備

(2) 「港かわさき67号」

- ・発行日 1月7日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容

「みなとで働く人々」

第5回 東洋埠頭株式会社

「川崎をビーチバレーの聖地！！」

ビーチバレーボールナショナルトレーニングセンター（NTC）
連 載「川崎臨海部埋立の歴史」

第5回 浮島町の埋立

東扇島における放置車両対策について

川崎市港湾局川崎港管理センター港営課 担当係長 岩切 仁志